週　報

国際ロータリー第 2660 地区

令和 8 年 10 月　6 日

豊中ロータリークラブ

第 3087 例会
第 2681 号

広めよう　ロータリーの心　地域とともに
創立 1959 年 6 月 16 日

持続可能なインパクトを生み出そう

2026～27 年度
国際ロータリー会長
オラインカ・ハキーム・ババロラ
トランス・アマディ・ロータリークラブ

Rotary
Toyonaka

2026.7～2027.6
会　　長　武枝敏之
副 会 長　眞下　節
幹　　事　横田広司
雑誌･広報･会報委員長
宮田幹二

本日（10 月　6 日）のプログラム

「衛星クラブについて」
新クラブ結成委員会 委員長 大阪西 RC
近藤　太郎　様
卓話担当：武枝敏之



次回（10 月 27 日）のプログラム

「自己紹介」
豊中 RC 新奨学生
TAI NKOSI FRASER
担　当：宮田幹二

⇔会長の時間⇔

2026-27 年度　会長　武枝敏之

10 月に入り、ようやく朝夕に秋らしい涼しさを感じるようになりました。今年の夏を振り返りますと、記録的な暑さが続いた一方で、世界では局地的な大雨や大雪、台風の進路の変化など、「これまでとは少し違うな」と感じる気象が増えているように思います。今年は春から顕著なエルニーニョ現象が続いていると気象庁も発表しています。もちろん、異常気象のすべてをエルニーニョだけで説明することはできません。しかし、その背景には地球温暖化という大きな問題もあります。その原因の一つである CO_2についても、私たち一人ひとりが「減らす」という意識を少し持つことが大切ではないでしょうか。大げさな話に聞こえるかもしれませんが、未来の子どもたち、そして次の世代のために、電気を無駄にしない、車の使い方を考えるなど、小さなことから始める。10 月の爽やかな季節を迎え、今日は少しだけ「未来の地球」に思いを馳せてみたいと思います。

四つのテスト 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

事務局・例会場：〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号　ホテル　アイボリー内
TEL 06-6858-1551　FAX 06-6857-0011
例　会　日　時：毎週火曜日 12 時 30 分より
事　　務　　局：9 時～15 時（土日祝を除く）
ＨＰアドレス：https://toyonaka-rc.jp
メールアドレス：contact@toyonaka-rc.jp

☆出席報告☆

	第3086回	第3083回
例　会　日	9月29日	8月4日
① 会員数 A	26	26
（内出席免除者）	6	6
② 出席義務者数	20	20
③ 出席義務者出席数	9	12
④ 出席免除者出席数	3	3
⑤ メイクアップ数		4
⑥ 出席義務者欠席数	11	8
出席率 %	52.17%	82.61%

出席率（3086回）③+④／②+④　出席率（3083回）③+④+⑤／②+④

㊗10月のお祝い㊗

・会員誕生日　岩本会員
・結婚記念日　松山、宮田各会員
・ご夫人誕生日　村司会員

※本日は月初の為、唱歌は君が代です。
次週の唱歌は“いざ友よ”を予定しております。

☞幹 事 報 告☞

・国際ロータリー第2660地区より

「各クラブ独自の青少年交換プログラム実施時の手続きについて」が届きました。

「【ご提出お願い致します】 第2660地区 2026-27年度 地区大会」のご案内」が届きました。

「ガバナー月信10月号の送付」が届きました。
地区ウェブの下記のページからもご覧いただけます。
ガバナー月信 | 国際ロータリー第2660地区
https://www.ri2660.gr.jp/governor/magazine/

「2026-27 年度地区大会信任状　ご提出のお願い」が届きました。

☞ 掲　示　板 ☞

・豊中RC秋の親睦ゴルフ開催
日　時：2026年10月22日（木）
場　所：よみうりカントリークラブ
※本日、出欠回覧いたします。

※現在4組でエントリーしています。まだ若干余裕がありすので参加ご希望の方は事務局まで連絡をお願い致します。懇親会からでもご参加いただけます

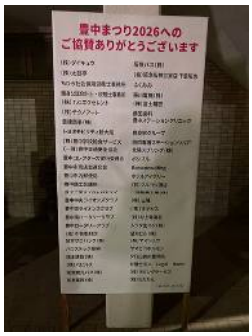
・第1回ガバナー補佐訪問
日　時：2026年10月27日（火）12：30～
場　所：ホテルアイボリー

※例会前12：00から事前懇談会（会長・副会長・幹事）例会終了後に例会場にて協議会があります。

🌟豊中まつり🌟

2026年10月3日（土）4日（日）に開催されました豊中まつりには藤田会員がご参加くださいました。また、別途ご参加頂きました会員の方にもお礼申し上げます。

豊中RC会長　武枝敏之
幹事　横田広司













米山リクレーション

2026 年 9 月 26 日に行われました米山リクレーションには 9 月末にご退会された米山委員長の矢吹会員と米山奨学生のパク・ソニョンさんが参加されました。ご健康に留意され新天地でのご活躍をお祈りいたします。下記は矢吹元委員長のご報告です。

豊中 RC 会員一同

豊中 RC 会員の皆様

9 月 27 日（日）、米山奨学生レクリエーションに参加してまいりました。
当日は、奨学生の皆さんによるスピーチや宝塚観劇が行われ、終始和やかな雰囲気の中、親睦を深めることができました。
奨学生の皆さんからは、日本での学びや生活、将来への思いなどが、それぞれの言葉で語られ、いずれも大変印象深いものでした。
米山奨学事業が、経済的な支援にとどまらず、人と人とのつながりを通じて相互理解を深めていく活動であることを、改めて実感しました。

また、私にとっては今回が初めての宝塚観劇となりました。
その華やかさと迫力、そして細部に至るまで磨き上げられた舞台に圧倒され、心に残る感動のひとときとなりました。
用意いただいた座席も大変観やすく、存分に舞台を楽しむことができました。
このような貴重な機会をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

今回が、豊中ロータリークラブの一員として参加する最後の活動となりました。
通常の業務だけでは得ることのできない、さまざまな経験や気づきをいただきました。
最後に、このような温かい交流の場に参加できましたことも、よい締めくくりになったと感じております。
いただいたご縁を大切にしながら、今後の新たな環境においても、地域とのつながりを大切にしてまいりたいと思います。

大変心苦しいのですが、本日の例会も欠席となります。
例会を前に、取り急ぎ参加のご報告を申し上げます。パクさんに了解をいただきましたので、以下の写真を報告させていただきます。
2 年間、どうもありがとうございました。

矢吹嘉孝













2026 年 9 月 29 日の卓話

「音楽とスポーツに関するイップスの対処法」
国立病院機構大阪刀根山医療センター院長　望月秀樹様
卓話担当：松山辰男



松山会員　望月様

イップスの原因は未だ十分に解明されていない。不安などの精神的要因を主因と考える立場がある一方、書痙や音楽家のジストニアと同様に、局所性ジストニアの一種として捉える立場もある。ジストニアは、「持続的または間欠的な筋収縮により、捻転性または反復性の運動や異常な姿勢を生じる病態」と定義される。実際には、イップスには心理的要因と運動障害としての要因の双方が関与する例が多いと考えられる。

イップスでは、うまくいかない動作を反復して練習することが、かえって症状を悪化させる可能性がある。ゴルフのパッティングにおいては、グリップを変更する、パターの長さを変更するなど、動作や用具を工夫することで症状が改善する例が報告されている。一方、リラクゼーションやポジティブ・シンキングなどの認知行動的アプローチ、ベンゾジアゼピン系薬、抗コリン薬、L-dopa の経口投与などの薬物療法の効果は限定的である。ボツリヌス毒素注射が有効であったとの報告もある。

音楽家のジストニアは、楽器演奏時に手指や上肢などに不随意運動や異常姿勢が生じる局所性ジストニアであり、ピアノ、ヴァイオリン、ギターなどの鍵盤楽器・弦楽器だけでなく、フルートやクラリネットなどの管楽器でも認められる。管楽器では、口唇、顔面、顎などに症状が出現することがあり、アンブシュア・ジストニアと呼ばれる。また、歌手において、通常の会話には支障がないにもかかわらず、歌唱時に声帯を制御する筋群にジストニアが生じる例もある。音楽家のジストニアは演奏活動の継続を困難にし、職業上重大な影響を及ぼす場合がある。そのため、音楽教育の現場においても、音楽家のジストニアに対する認知を高め、早期に適切な対応につなげることが重要である。イップスと音楽家のジストニアはいずれも、心理的要因と神経学的要因が複雑に関与する可能性があり、早期の認識と適切な介入が重要である。



